

中2理科 授業の受け方

授業に必要なもの

テキスト（Winning）、授業用ノート1冊、提出用ノート2冊、赤ペンと青ペン

授業の進め方

1. 宿題の答え合わせ

- ・授業の初めに、宿題の答え合わせを行います。
- ・宿題で解いた問題が小テストに出てくることが多いです。
- ・答え合わせだけでなく、解説もしっかり聞いておきましょう。

2. 小テスト

- ・基本的に、小テストは毎回行います。（試験対策を除く）
- ・小テストの問題は、前回の授業で学んだワークシートから出題します。
→小テストに備えて、授業前に必ず前回のワークシートを復習しよう！
- ・毎回の小テストで良い点が取れば、定期テストも必ず良い点が取れます！

3. ワークシート

- ・その日に学ぶ内容についてのワークシートを毎回配布します。
- ・授業では、まず先生がワークシートに書く内容を説明するので、そのときは説明を聞いてください。
- ・説明が終わったら写す時間を設けます。説明を聞く時間と写す時間が分かれています。
- ・説明の時間でも、気づいたことや重要そうなことは積極的にメモしよう！

宿題について

- ・宿題は、間違い直し、テキストからの問題（15分程度で終わる量）の2つがあります。
- ・間違い直しは提出用ノートに、テキストの問題は授業用ノートに行なってください。
- ・ワークシート写しは宿題にしません。
ただし、小テストの勉強はしてきてください。自習用に穴あきのワークシートと穴が埋まっているワークシートを配ります。うまく利用してください。

提出用ノート（直しノート）の使い方

- ・提出用ノートは、常に1冊は塾に、1冊は手元にあるようにしてください。
- ・間違い直しは、自分が後で見返して、どんな問題を、どのようにして間違えたのかがわかるように、「最小限」で行おう。
→問題文はなくてもok、「ポイント」を積極的に書く！

間違い直しの例

はじめに、授業を受けた日の日付を書き、前回の直し、授業の直し、小テストの直しの順番で直しをする。

3/6・前回の直しなし

・授業の直し

p.13. ㊦

(2) もとの物質とは性質の違う別の物質ができる変化は?

→ 化学変化

㊦・化学変化は、もとは異なる物質ができる。

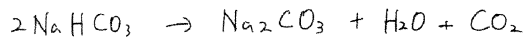
・状態変化は物質は変わらず、状態が変わる。

(固体、液体、気体)

・小テストの直し

小テスト1

2.(2)(3)㊦ 炭酸水素ナトリウムの熱分解



炭酸水素ナトリウム → 炭酸ナトリウム + 水 + 二酸化炭素

⤴
水に溶けにくい
弱いアルカリ性

⤴
水に溶けやすい
強いアルカリ性

授業の直しでは宿題で間違えた問題などを直します。問題文はできるだけ短く！関連することをポイントとしてかけると
good!

同じ内容の問題を間違えたなら、まとめて直しても OK! 問題文を書かずに、1つのポイントでまとめて直しとしても good!

間違い直しでは次のことを心がけよう。

- ・時間をかけすぎず、できるだけ短くまとめる。
 - 問題文を書き写すこと、図を丁寧に書くことは勉強にはなりません!
- ・テスト前などに自分で見返して、何を間違えたのかがパッと見てわかること。
 - 一度間違えた問題は時間が経てばまた同じように間違えます。何度も間違え、何度も見返すことでいずれ絶対に間違えなくなります!